

指定管理業務 事業評価書

令和6年度 指定管理者業務 事業評価表

施設名	山あげ会館
施設所管課	商工観光課
指定管理者名	一般社団法人 那須烏山市観光協会
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日

確認項目	評価基準	自己評価	所管評価
<b>I 履行の確認</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)職員配置	適切な人員配置がされたか	A	A
(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	D
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	B
(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	A	A
3 保守点検業務			
(1)保守点検業務	保守点検が適切に行われたか	A	A
(2)清掃業務・維持管理業務	清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	A
(3)保安・警備業務	保安・警備業務が適切に行われたか	A	A
(4)修繕業務	修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1)指定業務	事業が適切に行われたか	A	A
(2)自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
6 設置目的の達成度(管理目標)	設定目標に対する結果は妥当であるか	A	B
<b>II サービスの質の評価</b>			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	A
3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	A
4 指定・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	A
<b>III サービスの安定性の評価</b>			
1 事業収支	事業収支は妥当であるか	A	C
2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	A	B
3 団体等の経営状況	団体の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	B	B
総合評価		A	D
その他特記事項(成果・改善等)			
1 指定管理者	烏山城の国史跡指定を受け、今年度も引き続き御城印の販売と登城証明書の発行を行った。JR烏山線アキュム導入10周年に伴い、烏山線アキュムNゲージの販売を行った。その他、メグロキャンポールの開催地として協賛事業を行った。JR東日本とカワサキモーターズのメグロ百周年企画(スタンプラリー)に協力し、来客数増加に取り組んだ。山あげ会館2階の展示室にて、生涯学習課とともに曲畑遺跡土器展を開催し、入館者数を増やす取り組みを行った。		
2 施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営は概ね適切に行われているが、職員研修については避難訓練が未実施となった。</li> <li>水道光熱費や人件費の増加により、収入の一部を観光協会一般会計から繰り入れ補填している。実質赤字決算となった。</li> <li>団体の経営状況は一部課題はあるものの、オリジナル商品の製作など物販の強化に取り組まれたことから前年度から改善が見られる。</li> </ul>		
総合評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設全体の管理運営については協定書を遵守し、概ね適切に行われている。避難訓練は消防計画に基づいて実施するとともにスタッフ間で認識を共有されたい。</li> <li>アキュム導入10周年やメグロ100周年記念をうまく活用した施設の利用促進やPRに取り組まれたが、入館者数、入館料ともに減少となった。事業収支の分析、改善を行うとともに、更なる施設の利用向上に取り組まれたい。</li> </ul>		

※ 施設の特性等に応じて確認項目を追加・修正して使用すること。

<評価区分>

評価基準	A(優良)＝協定書等を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	B(良好)＝協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	C(課題含)＝協定書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	D(改善要)協定書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	A(優良)＝評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B(良好)＝評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C(課題含)＝評価基準がすべてC以上である
	D(改善要)＝評価基準にDが含まれている